

受 総 第 354 号
平成 27 年 9 月 28 日

琴浦町議会
議長 前 田 智 章 様

琴浦町長 山 下 一 郎

議会報告会・意見交換会における意見等について（回答）

平成 27 年 9 月 3 日付発議第 61 号で通知のあったこのことについて、別紙のとおり回答します。

議会報告会・意見交換会における参加者の意見等

【7月9日 成美地区】

項目	意見等の詳細	対応方針	担当課
1	<p>県道船上山赤碕線の改良について</p> <p>県道船上山赤碕線は大型バスがすれ違えないような箇所がある。また小学生の通学路としては歩道がない箇所があるなど危険である。バイパス化または道路改良工事をお願いしたい。</p>	<p>県道船上山赤碕線のバイパス化は、琴浦町議会で何度か一般質問があり、その都度、鳥取県へ要望を行ってきたが、「今後の交通量の増加が見込めないと困難である。」との回答であり、引き続き要望を行いたいと考えています。</p> <p>現道での道路改良につきましては、部落要望を頂いた箇所を中心に鳥取県へ要望を行っており、近年では金屋地区（大字竹内）が完了している。成美地区では大石部落から要望があり、鳥取県と協議を行っております。</p>	建設課
2	<p>地方創生について</p> <p>100億の一般会計予算のうち、1パーセントの1億円を、婚活、子育てなど人口減対策に充ててほしい。町長を筆頭に、職員も給与の1パーセントをカットして全力を注ぐという姿勢を見せて欲しい。よそがしていないような取り組みを望んでいる。</p> <p>地方創生というが、どういう地方創生をするのか。立子谷には小学生が一人もいない。西宮のほうから通う子どももない。鳥取県に1000人規模の工場をいくつか持ってくれば良いが、それをせずにどう地方創生をやるのか。どうやって人口を増やすのか。もう10年もしたら、集落が持たなくなる。</p>	<p>平成26年度よりコトウライフ事業として、人口減対策に重点的に取り組んでいます。</p> <p>平成27年度は婚活や子育て支援、定住促進など、町予算の1%を超える約1億3千万円を人口減対策事業に充てています。</p> <p>今年10月に本町の地方創生の取り組みをまとめた琴浦町版総合戦略を策定する。</p> <p>この戦略では、「育む」「創る」「輝く」「根づく」の4つのテーマにより、それぞれ「結婚・子育て」「産業の振興・しごとづくり」「観光・人材育成とまちづくり」「健康・安心な暮らし」等の取り組みを進めることとしている。</p> <p>これにより住民満足度を高め、暮らしやすい琴浦町の魅力や特色を町内外に発信することで、出生数の増加やI J Uターンの増加を目指す。</p>	<p>企画情報課</p> <p>総務課</p> <p>企画情報課</p>
3	<p>保育園について</p> <p>以西、安田、成美保育園の統合については、現在の成美保育園を増改築するという説明だったが、耐用年数の少ないコンクリート造りの建物を改造するのか。旧東伯のように、広いところに新たな施設を建てないのか。</p> <p>子育て支援は、来年度から公立はやばせこども園だけになると聞いている。赤碕地区では現在成美保育園で実施しているが、これは廃止される。また、琴浦保育園は民営化されると聞いている。少子化対策と言いながら、誰が八橋まで連れて行くのか。子どもたちに保育の平等を実現して欲しい。</p>	<p>成美保育園は、建物の耐用年数が10年あるため、必要な改修を行ないながら使用するが、10年以内には新たな土地に新築するよう検討して行きます。</p> <p>子育て支援計画の中では、保育士不足等から5年以内に5箇所のセンターを3箇所（公立1、私立2）に削減する予定です。子育て支援センターの役割である子育て相談、子育て中の母子等の交流・仲間づくりの面から、集約した方が役割を果たせるものと判断しています。</p> <p>行財政改革の一環として、琴浦保育園に限らず、民営化・指定管理等検討を進めています。</p>	町民生活課